

北斗市民の利用が、半数以上となっています。

【年次比較】

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
北斗市	81 (68.6%)	395 (47.4%)	390 (51.4%)	363 (50.8%)
函館市	17 (14.4%)	264 (31.7%)	168 (22.1%)	165 (23.1%)
七飯町	14 (11.9%)	117 (14.0%)	86 (11.3%)	97 (13.6%)
その他【道内】	5 (4.2%)	58 (7.0%)	79 (10.4%)	72 (10.1%)
その他【道外】	0 (0.0%)		23 (3.0%)	17 (2.4%)
無回答	1 (0.8%)	0 (0.0%)	13 (1.7%)	1 (0.1%)
計	118	834	759	715

従来と同様、北斗市在住者の割合が最も高く、50.8%、函館市がその約半数 23.1%、七飯町及び管外在住者が 13.6%、12.5%となっています。

回答者の約 1 割が、道内・道外居住者となっています。

(4) 利用頻度の状況について

	男	女	計	構成比
ほぼ毎日	18	16	34	4.8%
週に数回	123	119	242	33.8%
月に数回	123	120	243	34.0%
年に数回	56	93	149	20.8%
初めて	20	27	47	6.6%
計	340	375	715	100.0%

【結果】①「ほぼ毎日」が、34人(4.8%)、②「週に数回」が、242人(33.8%)

③「月に数回」が、243(34.0%)、④「年に数回」が、123人(20.8%)

⑤「初めて」が、47人(6.6%)となっています。

\*「ほぼ毎日」と「週に数回」が276人(38.6%)と、回答者の2.6人に1人が、せせらぎ温泉を日常の入浴手段として利用していることが窺えます。

【再掲】

今年度の利用状況を振り返り、利用回数が減ったとする方の理由を聞いてみたところ、前年に比べ減ったとする方が28人(3.9%)おり、夏の暑さ9人(1.3%)、物価高騰に伴う節約7人(1.0%)おりました。

【年次比較】

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
ほぼ毎日	9 (7.6%)	41 (4.9%)	37 (4.9%)	34 (4.8%)
週に数回	55 (46.6%)	289 (34.7%)	291 (38.3%)	242 (33.8%)
月に数回	41 (34.7%)	299 (35.9%)	250 (32.9%)	243 (34.0%)
年に数回	10 (8.5%)	170 (20.4%)	123 (16.2%)	149 (20.8%)
初めて	0 (0.0%)	26 (3.1%)	23 (3.0%)	47 (6.6%)
その他	1 (0.8%)	2 (0.2%)	23 (3.0%)	0 (0.0%)
無回答	2 (1.7%)	7 (0.8%)	13 (1.7%)	0 (0.0%)
計	118 (100%)	834 (100%)	759 (100%)	715 (100%)

利用回数の推移を見ても、せせらぎ温泉を日常の入浴手段として利用していることが窺えます。

また、週に数回と答えた方が約50人、5ポイント減少し、月に数回、年に数回と答えた人が増加して